

庁内照会調査の実施結果（分野別）

<別紙5>

1 中野区における気候変動適応に係る取組

分類 (分野別)	No	施策・事業名	実施の有無	概要	関連計画	今後さらに推進する必要性	気候変動の影響分野（複数回答可）										担当部署名		
							①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩			
① 自然災害 (浸水、洪水、土砂災害等)	1	水害等に係る情報発信	○	HP・ツイッターやメール用いて水害時は情報発信を行う。		○	○	○										危機管理課	
	2	防災マップ・洪水ハザードマップの作成	○	窓口(庁舎・区民活動センター)等で配布するとともに、HPにも掲載し、普及啓発を行う。		○	○												危機管理課
	3	水害土のうの備蓄	○	土のう倉庫等に土のうを備蓄し必要に応じて利用してもらっている。		×	○				○								道路課
	4	浸水対策の注意喚起	○	HP・区報・区からの配布物(洪水ハザードマップ等)で注意喚起を行う。		○	○				○								危機管理課、道路課
	5	風水害に関する計画・マニュアルの策定	○	東京都地域防災計画が改定された場合には、その改正内容を踏まえて中野区地域防災計画を改定する。職員向けには風水害マニュアルを作成し、従事者に周知している。また、区民に対しては、東京マイタイムライン等配布物を通じて周知を図っている。		○	○	○			○								危機管理課、道路課
	6	雨水流出抑制対策の推進	○	300㎡以上の建築に対して一定量の雨水流出抑制施設の設置を指導している。		×	○	○											道路課
	7	災害に強い公園づくりの推進	○	大規模公園整備を実施した。(令和元年度まで)		×	○	○	○										公園緑地課
	8	緑化による雨水浸透面の確保	○	都市計画道路等の広幅員道路に植樹帯を設置している。		×	○		○										道路課
	9	公共施設の整備・改築と合わせた雨水浸透面の確保	○	・雨水流出抑制による雨水貯留槽の設置、浸透施設の設置、緑地の確保、浸透管・柵の設置。(施設課) ・公園整備工事等において、雨水浸透に係る工事を合わせて実施する。(公園緑地課) ・学校施設の新校舎整備において、透水性の高い校庭への改修を行う。(子ども教育施設課)	中野区立小中学校施設整備計画	○	○	○		○									施設課、子ども教育施設課、公園緑地課
	10	雨水浸透の推進	○	道路改修に併せて雨水浸透施設を道路下に設置する場合がある。		×	○		○										道路課
	11	地震・土砂災害に関する危機管理体制の強化	○	職員向けには、震災マニュアルの改訂を行い態勢の整理をするとともに、区民向けには土砂災害ハザードマップを配布する等、土砂災害について周知を図る。		○	○	○	○		○	○	○	○					危機管理課
	12	保育施設運営	○	風水害等が予想される場合に、区として中野区保育施設を開所するか、閉所にするかの判断を行う。		×	○	○											保育園・幼稚園課
	13	実践的な防災訓練、防災教育を通じた正確な知識の普及	○	ハザードマップを活用した避難行動の確認や風水害に関する知識について、座談会等を通じて普及啓発を行う。		○	○	○	○										危機管理課
	14	外国人旅行者の安全確保	○	広域避難場所案内看板を4言語で表示している。(日本語、英語、中国語、韓国語)		○	○	○											危機管理課
	15	廃棄物処理における収集・運搬体制等の維持	○	収集・運搬マニュアルについて災害発生時(豪雨・豪雪による道路の冠水、ルート遮断等)の事項を含めて整備し、また、車両の事前避難について検討する。	一般廃棄物処理基本計画、災害廃棄物処理基本計画(未策定)	○	○	○	○										ごみゼロ推進課、清掃事務所
	16	廃棄物処理における施設整備	○	廃棄物関連施設の整備時に、施設の強靱性、災害発生時の防災拠点としての機能等を盛り込むことで、災害時の迅速な回復等につなげる。	一般廃棄物処理基本計画、災害廃棄物処理基本計画(未策定)	○	○	○	○										ごみゼロ推進課、清掃事務所
	17	排水場の維持管理及び下水の排水能力強化	×	-		-	○	○	○		○								-

分類 (分野別)	No	施策・事業名	実施の有無	概要	関連計画	今後さらに推進する必要性										担当部署名		
						① 水質の悪化・濁水の増加	② 水害・浸水被害の増加	③ 土砂災害の増加	④ 自然生態系への影響	⑤ ヒートアイランド現象の悪化	⑥ 熱中症の増加	⑦ 感染症の増加	⑧ まつりやイベントへの影響	⑨ 農業・林業・水産業への影響	⑩ その他			
② 健康・生活 (熱中症、感染症等)	18	区道の遮熱・保水性舗装の実施	○	今後遮熱性舗装を実施する予定だが、保水性舗装は実施予定なし。		×	○			○	○						道路課	
	19	建築物のヒートアイランド抑制への支援	○	中野区高断熱建築物の認証制度により、エネルギー消費性能の高い建築物の普及を支援することで、ヒートアイランドの原因である人工排熱の排出を抑制する。	中野区環境基本計画	○	○		○	○	○						環境課	
	20	学校のエコスクール化の推進	○	・体育館屋根遮熱塗装、太陽光発電表示の設置を行う。(施設課) ・学校施設の新校舎整備において、太陽光パネルの導入を行う。(子ども教育施設課)	中野区立小中学校施設整備計画	○	○		○	○	○							施設課、子ども教育施設課
	21	公共施設における冷暖房の完備(学校含む)	○	・高効率機器、高断熱、Low-Eガラス、複層ガラスの導入(施設課) ・学校施設において、教室、体育館等へ冷暖房設備の計画整備を行う。(子ども教育施設課) ・学校施設の新校舎整備において、教室、体育館等への設置を行う。(子ども教育施設課)	特別教室冷暖房化工事計画 体育館冷暖房化工事計画 中野区立小中学校施設整備計画	○					○	○					施設課、子ども教育施設課	
	22	打ち水イベントの実施	○	夏季期間のヒートアイランド現象の緩和のため、二次水を利用して町会連合会や商店街振興組合と連携し区内で打ち水イベントを実施している。		○					○	○						環境課
	23	熱中症の普及啓発・注意喚起	○	区報やHP等を用いて、熱中症予防に関する普及啓発を行う。		○						○						地域活動推進課、保健予防課
	24	熱中症の普及啓発・事業者等への協力依頼	○	・熱中症予防リーフレットやうちわの配布、高齢者会館等でののぼり旗の設置と横断幕の掲示。高齢者会館等の運営事業者へ熱中症予防に係る注意喚起への協力依頼を実施する(地域活動推進課) ・区報やHP等を用いて、熱中症予防に関する普及啓発を行う。(保健予防課)		○							○					地域活動推進課、保健予防課
	25	まちなか避暑地の実施	○	・7月～9月の期間、高齢者の日中の居場所として21か所の区の施設をまちなか避暑地として設置している。(地域活動推進課) ・区報やHP等での涼み処利用の呼びかけを行う。(保健予防課)		○						○	○					地域活動推進課、保健予防課
	26	クールビズ・ウォームビズの推進	○	・施設で、職員はクールビズ・ウォームビズに取り組んでいる。(施設課・職員課) ・区民向けにパネル展等で普及啓発をしている(環境課)		○							○	○				施設課、職員課 地域活動推進課、保健予防課、環境課
	27	感染症予防対策	○	・保健所や都から提供されるインフルエンザその他の感染症の流行状況・予防策及び学校独自の蔓延防止策を提供し、学校での蔓延防止を図る。(学校教育課) ・気候気候の変化により、感染症の流行状況を把握し、早期に情報を提供。各保育施設の感染症予防対策を強化する。(保育園・幼稚園課) ・インフルエンザ、鳥インフルエンザ、エボラ出血熱等の感染症による健康被害に備え、準備を行う。(保険予防課) ・区報やHP等を用いて、害虫の防除に関する普及啓発を行う。(生活衛生課)		×								○			学校教育課、保育園・幼稚園課、生活衛生課、保健予防課	
28	害虫の駆除等	○	・小中学校における通常の害虫駆除に加え、ヒアリ等、温暖化に伴う新たな外来生物等に対応するため、学校に対し、国・都及び保健所の情報を速やかに提供するとともに、研修等で得た知識を活かした適切な対応をとる。(学校教育課) ・保育園年2回ゴキブリが発生しないよう点検、薬剤散布。(保育園・幼稚園課) ・区報やHP等を用いて、害虫の防除に関する普及啓発を行う。(生活衛生課)		×									○			学校教育課、保育園・幼稚園課、生活衛生課	

分類 (分野別)	No	施策・事業名	実施の有無	概要	関連計画	今後さらに推進する必要性										担当部署名		
						① 水質の悪化・濁水の増加	② 水害・浸水被害の増加	③ 土砂災害の増加	④ 自然生態系への影響	⑤ ヒートアイランド現象の悪化	⑥ 熱中症の増加	⑦ 感染症の増加	⑧ まつりやイベントへの影響	⑨ 農業・林業・水産業への影響	⑩ その他			
② 健康・生活 (熱中症、感染症等)	29	イベント時における熱中症対策	○	<ul style="list-style-type: none"> 各校に対して熱中症予防及び熱中症による事故防止について通知している。特に、体育や部活動、校外学習等の実施に当たっては、暑さ指数(WBGT)を参考に対応するよう校長会等においても伝えている。※各校にはWBGT測定器を教育委員会から配布している。(指導室) UV効果のある遮光ネット使用(保育園・幼稚園課) 保育施設においては暑さ指数(WBGT)31度、乾球35度以上の場合、戸外遊び・水遊びは原則中止(保育園・幼稚園課) 夏期の選挙執行時には、冷房設備の整っていない投票所においては、業務用扇風機のレンタルや冷却物品を配備し、従事者等の熱中症予防対策を図っている。(選挙管理事務局) 開票所としている、現在の区立中野体育館には冷房設備がないため、夏期の選挙においては開票日に合わせ大型冷房機器を複数台レンタル設置し、熱中症予防対策を図っている。(選挙管理事務局) 		○											産業観光課、指導室、保育園・幼稚園課、環境課、選挙管理事務局	
	30	学校における猛暑による対応	○	<p>今年度より、環境省主催の熱中症対策研修会が中野区で行われるようになり、学校保健委員でもある保健所長をはじめ、学校教育課職員、保健所職員、体育教諭、養護教諭、学校薬剤師が参加している。学校教育課が主体的にこれら関係職員に働きかけ、学校での猛暑対策に取り組む。</p>		×											学校教育課	
	31	猛暑によるイベント等の対応	○	<ul style="list-style-type: none"> 各校における学校行事及び校外学習等で、児童・生徒の体調への配慮の観点から、活動内容や活動時間、水分補給等十分に配慮し、対応するように通知している。(指導室) UV効果のある遮光ネット使用(保育園・幼稚園課) 保育施設においては暑さ指数(WBGT)31度、乾球35度以上の場合、戸外遊び・水遊びは原則中止(保育園・幼稚園課) 		○												産業観光課、指導室、保育園・幼稚園課、環境課
	32	安全で快適なまちづくりの整備推進	○	<p>安全で快適なまちづくりを推進するに当たり、効率的なエネルギー活用などの環境への配慮、緑化推進による緑のネットワークの構築などの取り組みを進めていくこととしている。また、近年の豪雨を踏まえた透水性舗装についてもまちづくりと併せて検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 西武新宿線沿線まちづくり計画等 大和町防災まちづくり計画 弥生町三丁目周辺地区防災まちづくり事業計画 中野駅周辺まちづくりブランドデザインVer.3 	○	○	○	○	○							まちづくり計画課、まちづくり事業課、中野駅周辺まちづくり課	
	33	無電柱化の促進	○	令和元年11月に中野区無電柱化推進計画策定予定。		×												道路課
	34	3R推進、分別周知等の取り組み	○	日頃から3Rを意識してごみ減量に努め、また、排出時の分別を徹底することで、廃棄物処理・リサイクルのプロセスの負荷低減や災害廃棄物発生等の抑制につなげる。	一般廃棄物処理基本計画、災害廃棄物処理基本計画(未策定)	○	○	○	○									ごみゼロ推進課、清掃事務所
	35	適正・適切な排出による衛生的な環境の維持	○	日頃から生ごみの水切りや不法投棄の防止を徹底し、食中毒菌媒介動物(ハエ、ネズミ等)による感染症のリスク等を低減させる。	一般廃棄物処理基本計画、災害廃棄物処理基本計画(未策定)	○				○	○	○						ごみゼロ推進課、清掃事務所
	36	廃棄物処理における作業従事者の安全確保	○	作業従事者の熱中症対策、感染症対策に取り組み、現場事故の回避や作業環境の改善など、作業従事者の安全性・効率性、働きやすさを向上させる。	一般廃棄物処理基本計画、災害廃棄物処理基本計画(未策定)	○				○	○	○						ごみゼロ推進課、清掃事務所
	37	まちかどクールスポットの設置	×	—		×				○	○							地域活動推進課、保健予防課
	38	クールシェアの実施	×	—		○				○	○							地域活動推進課、保健予防課
39	大気汚染物質の測定	×	東京都の測定局が中野区内に設置されているため。		—												環境課	

分類 (分野別)	No	施策・事業名	実施の有無	概要	関連計画	気候変動の影響分野（複数回答可）										担当部署名		
						① 水質の悪化・濁水の増加	② 水害・浸水被害の増加	③ 土砂災害の増加	④ 自然生態系への影響	⑤ ヒートアイランド現象の悪化	⑥ 熱中症の増加	⑦ 感染症の増加	⑧ まつりやイベントへの影響	⑨ 農業・林業・水産業への影響	⑩ その他			
③ 自然生態系	40	水質モニタリング、生物調査の継続	○	神田川、妙正寺川の各2地点において年4回、水質調査を実施している。		×	○		○								環境課	
	41	民間開発・公共施設等の緑化	○	・東京都自然保護条例に基づく緑化、屋上緑化、壁面緑化（施設課） 一定の建築行為について、緑化計画書制度による緑化の義務付けによって、緑化を推進する。（公園緑地課） ・学校施設における緑化活動の推進を支援する。（子ども教育施設課） ・学校施設の新校舎整備において、屋上緑化の導入を行う。（子ども教育施設課）	中野区立小中学校施設整備計画	○	○	○	○	○	○						施設課、 子ども教育施設課、 公園緑地課	
	42	緑化の推進	○	緑化計画書制度や保護指定樹木等維持管理助成、花と緑の祭典の開催等様々な制度や緑化啓発の取組により、緑化を推進する。		○	○	○	○	○	○							公園緑地課
	43	公園・緑地等の整備	○	大規模公園整備を実施した。（令和元年度まで）		×	○	○	○	○	○							公園緑地課
	44	緑化に対する支援	○	民有地にある一定の条件を満たした樹木等を保護指定し、その維持管理に対して助成を行う。また、接道部の生け垣等の設置に対して、その設置費用を助成する。		○	○	○	○	○	○							公園緑地課
	45	緑のカーテンの推進	○	毎年春と秋に実施する「中野区花と緑の祭典」において、緑のカーテン教室の開催やゴーヤなどの種の配布を行う。		○				○	○							公園緑地課
	46	種・苗の配布	○	毎年春と秋に実施する「中野区花と緑の祭典」において、苗木や種の無料配布を行う。		○				○	○							公園緑地課
	47	森林整備等の実施	○	なかの里・まち連携自治体である群馬県みなかみ町、福島県喜多方市と連携し、現地での森林整備及び森林整備支援を行い、中野区で排出されるCO2排出量の埋め合わせを行っている。		○	○	○	○	○	○				○		環境課	
	48	川の水質改善委託	×	-		-	○		○									-
	49	地球温暖化による生物多様性への影響に係る普及啓発	×	-		-			○									
50	住民参加型の生物生息状況調査の実施	×	-		-			○										-

2 将来的な気候変動に備えるための課題・対策

分類	No	気候変動に対処するための課題・対策	関連計画	気候変動の影響分野（複数回答可）										担当部署名			
				① 水質の悪化・濁水の増加	② 水害・浸水被害の増加	③ 土砂災害の増加	④ 自然生態系への影響	⑤ ヒートアイランド現象の悪化	⑥ 熱中症の増加	⑦ 感染症の増加	⑧ まつりやイベントへの影響	⑨ 農業・林業・水産業への影響	⑩ その他				
① 自然災害 (浸水、洪水、土砂災害等)	1	水害の多発による災害廃棄物発生が国内各地で頻発する傾向にあり、災害廃棄物処理計画の策定が急がれる。	一般廃棄物処理基本計画、災害廃棄物処理基本計画（未策定）		○	○	○										ごみゼロ推進課、 清掃事務所
	2	区として中野区保育施設を開所するか、閉所にするかの判断が必要とされる場合の判断基準を設ける必要がある。			○	○											保育園・幼稚園課
② 健康・生活 (熱中症、感染症等)	3	気温上昇により厳しさを増す夏場の作業環境を改善できるよう、作業従事者の熱中症や感染症の対策に更に取り組む必要がある。	一般廃棄物処理基本計画、災害廃棄物処理基本計画（未策定）					○	○	○							ごみゼロ推進課、 清掃事務所
	4	生活保護費における冬季加算など、現行制度では対応できないため、夏季加算の要望を国へしている。これにより夏季電気代負担の軽減とし、健康な生活を維持する。	法定業務のため国への要望のみ					○	○								生活援護課